

22 旅館・ホテル・宿泊所

【関連章第7章4】

事例2 「宿泊室のカーペットにたばこが落下したため出火した火災」

出火時分 8月 時分不明
 用途等 ホテル 耐火造 9/1 延 4,000 m²
 防火管理 該当 選任あり 消防計画あり
 被害状況 建物ぼや1棟 カーペット若干焼損
 概要

この火災は、ホテル6階の宿泊室から出火したものです。

出火原因は、宿泊客が喫煙し、カーペット上にたばこを落下させてしまったために出火したものです。

発見は、宿泊室を清掃しようとした清掃員が、宿泊室のテーブル上に支配人宛のアンケート用紙を見つけ確認すると、宿泊客がたばこを落としカーペットを焦がしたと書かれていたため、カーペットを確認したところ焦げ跡を発見しました。焦げ臭いにおいを感じ、においの元を探すとベッド脇のごみ箱が焼損し変形しているのを発見し、支配人に火災の事実を伝えました。

その後、火災を確認した支配人は事務所の固定電話で消防署へ通報しました。

教訓等

ホテルには様々な宿泊客が訪れており、様々な理由から火災が発生する恐れがあります。

火災が発生した際には、速やかに119番通報を行い、適切に初期消火及び避難誘導を実施することにより被害の拡大防止を図ることができます。

宿泊客に出火防止について注意喚起を確実にを行い、問題が起こった場合は直ちに連絡するように教示するなどの対応をとることが大切です。

また、万が一に備え自衛消防訓練等を実施し、非常時に備えておくことも重要です。



写真 22-3 宿泊室の状況



写真 22-4 カーペットの焼損状況